

## METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

## 特集 教育実習・教員採用試験に向けて

2019年5月1日に元号は「令和」となりました。令和の時代最初の教育実習、教員採用試験がもう目前に迫っています。教育実習では、日本語学科6人、英米語学科14人の学生が、母校の高等学校や中学校に向かいます。教員採用試験では、延べ30人の学生が、北は北海道から南は沖縄県の採用試験に挑戦します。METTSとしては、独自講座の開講、外部招聘講座の開講、集団面接・個別面接の対応のプログラムを計画しています。METTSはみなさんの応援団です。4年間の夢の実現に向けて、さらなる努力を積み、有終の美を飾ってもらいたいと切に希望します。

## 教員採用試験特別直前講習開講

METTSでは4年生向けに、筆記試験対策の特別直前講習を開講します。5月15日の5限目にはガイダンスを開き、講座の内容や集団面接等の面接対策の説明を行いました。講座は全11回にわたり「教育原理」「教育時事」「教育法規」「千葉県独自問題」「東京都論策文」等を講習します。また7月1日からの1週間で全8回の外部講師招聘講座も実施します。教育実習中は試験勉強の時間はとれないと思いますので、本講座を有効活用してください。



## 2020年度教員採用試験に向けいざ出陣！

北海道の6月23日を皮切りに、静岡県 of 7月6日、新潟県の7月7日、千葉県、東京都、埼玉県、沖縄県の7月14日、そして青森県の7月20日と、延べ30人の学生たちはそれぞれの故郷を中心に全国に散っていきます。過去4年間のそれぞれの夢と希望を実現してください。まずは一次試験合格のために、「教職教養」「専門教養」、千葉県等は「集団面接」対策の時間を十分にとるようにしてください。教育実習期間内は実習に専念し、終わり次第教員試験勉強にチャンネルを切り替えるようにしてください。METTS職員はどんな時でも、みなさんの応援団です。これからも何でもサポートします。

## 2019年度教育実習始まる！

5月20日の東京都2人、青森県1人を皮切りに本年度の教育実習が始まります。千葉県、東京都、茨城県、沖縄県等で3週間の教育実習が展開されます。教科教育法及び教育実習Iで学んだことを実際の教育現場で実体験することになります。入念な教材研究、授業準備を自信につなげてください。そして母校である中学校や高等学校での実習のエピソードを大学に帰還したときに聞かせてください。ニュースレター6月号や7月号では、みなさんの体験をまとめる予定です。失敗談、成功談を聞くことを楽しみにしています。健闘を祈ります。

## 2019年度前期面接指導始まる！

5月8日から2か月にわたり、個人面接指導が始まりました。英米語、日本語、中国語学科の教職履修のすべての学生を対象に、約20分間の面接を行います。ある学生は「大学に入って、こうした形で面接指導を今まで受けたことがなく、自分の抱えている問題を先生方に相談でき、目的を持った学生生活が送れます」と語っています。

アゴラ活用状況(人)	
4月	1460
2018年度から延べ数	14,783

## 教育ボランティアと文武両道

2019年度浦安市連携教育ボランティアが5月中旬から始まりました。英米語学科3年生と2年生の5人が市内の小学校4校で英語支援のボランティアを開始しています。今回は2人を取材しました。

### 白井 萌さん(英米語学科3年)

5月14日から私の浦安市立美浜南小学校のボランティアがスタートしました。3年生と6年生の授業をサポートし、児童が楽しそうに英語を学んでいる姿に感銘を受けました。担当の先生方、児童の皆さんが暖かく迎えてくださり本当に感謝しています。これからも小学校英語支援ボランティアを精一杯がんばります。



### 神谷 美麗さん(英米語学科3年)

私は、小学校での外国語活動がどのように展開されているのかを学ぶために、日の出小学校ボランティアに参加しました。第1回目の活動では、1年生の外国語の授業を担当し、見本としてALTと会話をしたり児童と英語で挨拶をし合うなどの授業補助を行いました。このボランティアの経験を来年の教育実習に活かせるよう今後の活動でも多くのことを学んできたいです。

教職課程を履修しながら毎日の厳しい部活動に励み、将来は中学校や高等高等学校の教員になるために努力を重ねている学生がいます。今回はサッカー部、空手道部、男子硬式庭球部を取材しました。

### 関 玲於那さん(サッカー部・日本語学科3年)

5月11日、天皇杯千葉県予選決勝がありました。相手はブリオベッカ浦安で、結果は1-2で惜しくも敗け、準優勝でした。勝てば明海大学サッカー部史上初の天皇杯本戦出場で新たな歴史が刻まれるチャンスでした。しかし歴史を作ることはそんなに甘くはありませんでした。来年またあのピッチに立てるように日々練習に励みたいと思います。天皇杯の借りは天皇杯で返したいと思います。



### 平本 丈さん(空手道部・日本語学科2年)

今回の空手の関東個人戦を通じて、沢山の方への感謝と自分で考えることの大切さを学びました。試合の動画を見た時に、沢山のOBの方や保護者、先生方、知人などから応援をいただきました。動画を見るたび、勝てなかった原因と悔しさが心の中をいつまでも渦巻いていました。勝って成績を残すのは今まで人一倍努力した人で自分はまだまだ努力が足りないと感じました。

### 中村 太河さん(男子硬式庭球部・日本語学科3年)

私は男子硬式庭球部と教職のどちらもがんばっています。やりたいことをやりたいだけしていたらどちらも両立できません。4年生になったら教員採用試験、そして最後の試合があります。だから入学時から4年間を見すえて時間割を考えていました。空き時間は練習や授業の課題の時間に充てています。最後の試合、教員採用試験ともに良い結果を残し、充実した大学生活にするためこれからもがんばっていきたいと思います。